

2016年9月実績概要（メモ）

（2016.10.20）

定修実施日程が当月に集中したため、生産は前月比、前年比ともに多くの品目でマイナス。

1. 生産動向

イ) エチレン 470,300トン

前月比 ▲ 6.9% (▲ 34,800トン)

前年同月比 ▲ 18.1% (▲ 104,300トン)

生産増減に係る諸要因	<前月比>	<前年同月比>
日数増減	▲ 3.2%	—
定修要因等	▲ 4.0%	▲ 13.3%
能力増減	—	▲ 6.1%
稼働率変動	+ 0.3%	+ 1.3%
生産増減率	▲ 6.9%	▲ 18.1%

稼働プラントの実質稼働率試算：前月 95.0% → 当月 95.2% ← 前年同月 94.0%

定修プラント：前月 1社1プラント → 当月 2社2プラント ← 前年同月 なし

ロ) 主な石油化学製品

前月比では、日数の減少と定修規模の差から LD、PP、SM、塩ビ樹脂、塩ビモノマー、EG、BR、ベンゼン、トルエン、キシレンなどの13品目がマイナスとなった。HD、PS、ANなどの4品目は主に稼働率要因等からプラスとなった。

前年比では、定修規模差や稼働率要因等から LD、HD、PS、SM、EO、EG、AN、BR、トルエン、キシレンなどの13品目がマイナス。塩ビ樹脂、MMAモノマー、SBRなどの4品目のみがプラスとなった。

2. 樹脂の生産・出荷状況（LD、HD、PP、PS）

イ) 生産

前月比では、日数減と定修規模が増加した LD、PP はマイナス。HD、PS は主に稼働率要因等からプラスとなった。

前年比では、定修規模差等から LD、HD、PP、PS の4樹脂揃ってマイナスとなった。

ロ) 国内出荷

夏季休暇があった前月に対し、当月は営業日数の増加から4樹脂揃ってプラスとなった。

前年比では、前年は輸入品の減少傾向が継続し、LD、HD では特にフィルム分野の出荷が高めであった。当年は定修による影響もあり LD、HD のフィルム分野の出荷が減少しマイナスとなった。

一方、PP は射出成形分野、PS では包装分野、雑貨・産業分野の出荷増が大きく寄与しプラスとなった。

ハ) 輸出

前月比では、定修による供給面での制限がある中、LD、HD はプラス、PS はここ数カ月の輸出量が高めに推移してきたこともあり当月はマイナスとなった。

前年比では、HD のみがプラスとなったが、LD、PP、PS はマイナスとなっている。

ニ) 在庫

在庫量は、前月に対して LD、PP で減少、HD、PS はやや増加した。在庫率(季節調整済)は前月に対して LD は横ばい、HD、PP、PS は上昇した。在庫水準としては LD、PP、PS はほぼ適正、HD はやや高めの水準となっている。

	前月対比増減量 (単位:トン)	季節調整済在庫率 (単位:ヶ月)	
		8月末	9月末
LD	▲ 23,500	2.7	2.7
HD	+ 1,700	2.6	2.9
PP	▲ 7,900	2.5	2.7
PS	+ 2,100	1.1	1.3

以上